



基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則に各種ハラスメントの禁止について明記している。 あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		月1回の定例会議で社員への周知徹底に取り組んでいる。 現場では、労働安全衛生講習会(安全大会)を定期的実施している。 対象現場がある場合、安全パトロールを月1回実施し、リストに沿って安全確認を行い、必要に応じて是正処置を行っている。			3						8.8								
	14	【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		男女関係のない賃金体系・労働環境を確立している。 当社は期間従業員やパートでの採用は行っており、正社員での採用のみを行っている。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		やむなく、休日出勤が発生した場合は、振替休日を取得させるように推進している。 働き方改革に対して、有給休暇の取得奨励を実施し、健康増進、家事や育児有給休暇の環境を整えている。 また、有給休暇の管理表を総務部門で作成し、見やすいところに掲示することで、社員が取得しやすい環境を整えている。 ワークライフバランスに力を入れており、残業時間の管理徹底による働き方改革へ取り組んでいる。			3		5.5				8.5 8.8	10.3							
	16	【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		当社は積極的に1級・2級土木施工管理技士の資格取得を推進しており、社員が講習会に参加できる体制を整え、資格取得については全額会社負担で支援を行っている。 社員の知識や技術向上を図るため、外部講習を定期的に受講し、CPDSのユニット数の取得も目指している。				4	5.5				8	9							
	17	【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康診断は経費補助があり、毎年4月から6月に受診するよう、総務部で予約・実施の登録を管理している。 働き方改革の一環として、これまでは第2・第4土曜日を公休としていたが、2022年7月より第5土曜日も公休としている。			3						8						17		
	18	【ダイバーシティ経営】 多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇が無いように取り組んでいる。 従業員29人のうち、女性2名となっている。当社は定年は60歳とし、70歳までの再雇用として、その経験豊富な知識を活用しています。再雇用高齢者3名、障がいを持っている方は0名となっている。 女性が活躍出来る職場環境作りを目指しており、女性職員の総務部長が2023年7月に昇進・活躍している。				4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3					16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	様々な感染症の対策として、会社入口に非接触型体温計並びにアルコール消毒を設置し、感染拡大の防止に取り組んでいる。 社内の空気感染等を防止する目的で、会社内は24時間換気システムを採用。更にエアードッグの空気清浄機を入り口付近に1台、社内中央付近に1台、応接室に1台導入している。 現在はWeb会議を積極的に活用し、新しい情報を入手している。また、当社ではCPDSの年間ユニット取得が必須であり、勉強会、施工研修等についても同様に活用している。			3						8	9.1	11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	作業効率を上げるため、デジタル化を積極的に活用している。 入札で必要となる積算では、吉備システム社の「メビウスX」を使用し、受注機会を増やしている。 現場管理に必要な電子納品ソフトは、建設システム社の「デキスパート」を活用し、熊本県の基準に合致した電子納品を行っている。 役所打ち合わせでも、同社の3DCAD「SITEC3D」を活用し、工法・施工手順の説明に活用。電子黒板「SiteBox」とスマートフォンを導入し、黒板を持つ必要がなく、手書きが不要なため撮影人数の削減に貢献している。記録された出来形データ、撮影した工事写真はwi-fiを利用し、「KSデータバンク」に保管され、データ紛失等のトラブルも低減される。									8	9.1	11	12					
21	【プライト企業】 プライト企業に認定されている。		●					3	4					8	9		12					

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		事業所および現場から排出される廃棄物は免許を持った「未来環境」、「西井塗料」と契約し、適正に処理している。 PCB、鉛等を含む有害化学物質については塗膜成分調査を「MCエパテック」に依頼し、規定以上の含有量であれば、飛散防止のシート、グリーンルーム等の設置を専門業者「橋梁塗装」へ依頼し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		「簡易計算シート」により自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 新社屋移転に伴い、エネルギー消費の小さいエアコンにすべて変更している。(10台) 事務所電灯をエネルギー消費の小さいLED照明に全て変更している。(60基) 社用車の燃料使用量を2030年10月までに2%削減を目指す。 電力使用量を2030年10月までに2%削減を目指す。									7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に努めている。 会社で使用するすべての社用車をハイブリッド自動車に移行している。 その他の車両(1トラック、ハイエース等)は可能な限り、環境対策車両(平成30年基準排出ガス50%低減レベル)に入替えを行っている。 温室効果ガスの排出量を2030年10月までに2%削減する。			2.4								7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		環境に配慮した製品の提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。 特に工事で使用する割合の多いセメント系の材料については、六価クロムを含んでいることから、将来的に地下水汚染を繋がる懸念があるため、六価クロムが溶出しにくい材料を選定している。						6.6										14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		毎年、熊本市から「廃棄物減量・リサイクル計画」の提出依頼があり、最新では2024年6月30日にごみ減量推進課へ回答しており、事業所としてごみの減量化・リサイクルは責務と考え、真摯に取り組んでいる。 責任者も選任し、社内でもごみの減量化について共有している。 収集業者は事業所ごみは「石坂商店」、産業廃棄物はリサイクルボックスを事業所内に設置し、「未来環境」にて処分を行っている。 工事で排出される産業廃棄物については、その地区の専門業者に委託し、廃棄物が適正に処理されたかどうか manifests で管理・保管している。										9.4					12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水洗を節水コマに変更し、節水に取り組んでいる。 水の出しっぱなしをしないように取り組んでいる。 飲み残しを排水しないように取り組んでいる。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17				
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		事務所で使用するものについてはグリーン購入に取り組んでいる。☑ エコ商品の購入・利用に取り組んでいる。											9.4				12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●				1	2			6.4									12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●																		11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●		取り組みの一環として社内で使用されている電灯についてはLED照明を使用。省電力型エアコンを導入するなどして使用率の改善、再生エネルギーの利用・供給に取り組んでいる。 工事現場では、道路規制等で活用している看板等をエンジン式の発電機から、バッテリー・ソーラー式の電力供給機材に変更し、視認性が良く、消費電力の少ないLED照明を利用している。										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●																	9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●																			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●																				12.2 12.5		14		
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		現在、所有している社用車の100%がHEV車であり、環境に配慮している。														9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●																		9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.2	

